

Asalaamaaleku ! Bonne année ! みなさんこんにちは、あけましておめでとうございます。
新年早々に起きた地震の情報はすぐにセネガルにも届きました。北陸の皆さんが一日も早く
落ち着いて普段の生活に戻り、2024年を迎えられる状態になることを祈っています。そして私は
今年一年も明るく、Jàmm(平和)なセネガルの情報を引き続きみなさんに共有できるように頑張ります。

セネガルにもサンタクロースが

キリストの誕生をお祝いする日とされているクリスマス。96%がイスラム教のセネガルではクリスマスを味わうことはできないかなと思っていましたが、私の住む町では大通りにイルミネーションが飾られていたりクリスマスを少し味わうことができました。

私が活動している小学校の隣にある幼稚園にはサンタクロースがやって来ました。クリスマス会には保ご者も招待されて、みんなで歌を歌ったり、踊ったり。そして、最後は待ちに待ったクリスマスプレゼント。後で先生に聞くと、保ご者が子どもたちに内しよで用意していたプレゼントだったそうで、クリスマスの夢を大切にされた素敵な行事だなと思いました。

また、25日のクリスマス当日には、キリスト教徒のセネガル人家族のお家に招待されてみんなでクリスマスを祝いました。男性は賛美歌を聞きながらお酒を飲み、女性たちは料理をしたり、きれいに着飾って踊ったり、TikTokの動画を撮ったりと家族が集まり楽しい時間を過ごしていました。



クリスマス会

街に鳴り響く爆竹と 花火の音で始まった2024年

日本から遅れること9時間後、セネガルも新年を迎えました。私は首都ダカールでセネガルに住む他の日本人の方々と一緒に年を越しました。日付が変わると同時に街のあちこちで上がる花火、そして聞こえてくる爆竹の音。日本のように除夜の鐘を聞きながら年を迎える静かな年越しも良いですが、セネガルのように賑やかに新年を迎えるのも悪くないなと思いました。新しい年を迎え、少しゆっくり過ごしたいなと思っていたのも束の間、1月2日には学校へ。日本の正月にあたるこの時期は、クリスマスと同じであり祝う習慣がないようです。宗教の違いによる文化の違いを感じた年末・年始となりました。

アフリカ大陸最西端で
初日の出



友達とダンス

今日のウォロフ語

Sama kharit (サマ ハリ)

: 私の友達

Sama waa kër (サマ ワークゥー)

: 私の家族

私という意味の Sama、Sa に変えると
”あなたの”という意味になります。